

～10月は乳がん月間、11月は子宮頸がん月間です。～

“集い”とは？ ～「知る場」、「考える場」、「語らう場」、そして「実践へ」

福島県では、平成29年を目標年次として、**がん検診受診率50%（乳がんと子宮頸がんにあつては60%）以上を達成することを目標**としております。県民一人ひとりが、がん検診について、「知り」・「考え」・「語らう」ことを通じて、「実践（＝がん検診受診）」につなげていくことが重要であると考え、“集う場”を設定しました。



講演者紹介

総合磐城共立病院

本多つよし 医師

1959年福島県いわき市生まれ。1987年福島県立医科大学卒業。現在は、福島県立医科大学地域産婦人科支援講座教授の傍ら、総合磐城共立病院に勤務。「定期的な子宮頸がん検診で、守ろう子宮を！」という信念を県内外の講演などを通じて強く訴えている。



認定NPO法人オレンジティ 理事長

河村 裕美氏

認定NPO法人オレンジティ理事長。社会福祉士・PRプランナー。自身も子宮頸がんにかかった経験から、患者サポートの重要性を認識し、2002年に「オレンジティ」を結成。女性特有のがん予防啓発に精力的に取り組んでいる。著書に自身の経験を綴った『グローバルマザー』がある。



学生からのメッセージ

いわき明星大学をはじめとしたいわき市内の学生有志が、子宮頸がんについて語り合った結果を発表します。これを契機として、いわき市発の子宮頸がん予防の活動体が始動します。

学生たちをコーディネートする

いわき明星大学

鎌田真理子 教授



展示ブースの出展社

A 子宮頸がん検診ゾーン

- (公財)福島県保健衛生協会
- 日本ベクトン・ディッキンソン(株)



B 乳がん検診ゾーン

- 東京海上日動火災保険(株)
- 東京海上日動あんしん生命保険(株)
- アフラック
- 住友生命保険(相)

C 健康チェックゾーン

- 第一生命保険(株)
- 全国健康保険協会福島支部



■日本生命保険(相)

(順不同)

同日開催

いわき大交流フェスタ

本催しは、「いわき大交流フェスタ」と共同で開催します。「いわき大交流フェスタ」は、いわきに住む様々な人たちが交流を深めるイベントです。

交流サロンのワークショップや作品展示、フラダンスや伝統芸能などのステージイベント、ご当地グルメの販売も行います。盛りだくさんのプログラムでお待ちしています！



会場案内



●シャトルバスの運行について

開催当日は、いわき駅及びいわき合同庁舎から会場までの無料送迎バスを運行します。また、市内各所から、午前・午後各2便の循環バス(事前予約制)を運行する予定です。

詳しくは、いわき地方振興局 復興支援・地域連携室(電話 0246-24-6253)まで、お問合せください。

- 主 催 福島県
- 後 援 いわき市、福島県市長会、福島県町村会、(一社)福島県医師会、(一社)福島県病院協会、(公財)福島県保健衛生協会、福島県国民健康保険団体連合会、全国健康保険協会福島支部、福島民報社、福島民友新聞社
- 協 賛 アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)、損害保険ジャパン日本興亜(株)、(株)大東銀行、(株)東邦銀行、(株)福島銀行、住友生命保険(相)、第一生命保険(株)、大同生命保険(株)、東京海上日動火災保険(株)、東京海上日動あんしん生命保険(株)、日本生命保険(相)、富国生命保険(相)、明治安田生命保険(相)
- 協 力 (一財)福島県婦人団体連合会、福島県健康を守る婦人連盟、(公大)福島県立医科大学附属病院、(独)労働者健康福祉機構福島労災病院、いわき市立総合磐城共立病院、福島県医療ソーシャルワーカー協会、がんを考える「ひいらぎの会」



お問い合わせ

福島県 保健福祉部 健康増進課

福島県福島市杉妻町2番16号
電話 024-521-7640

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。